

# 厚生年金保険・国民年金事業の概況 (平成 26 年 4 月現在)

## 1. 総括

### (1) 適用状況

- 平成26年4月末の国民年金と厚生年金保険の被保険者数は、6,289万人であり、前年同月に比べて、20万人（0.3%）減少している。

表 1 制度別適用状況

	事業所数	被保険者数(人)			標準報酬月額 の平均 (円)
		総数	男子	女子	
厚生年金保険	1,811,158	35,820,803	22,865,072	12,955,731	303,990
船員以外	1,806,657	35,767,660	22,811,929	12,955,731	303,873
一般男子	・	22,811,324	22,811,324	・	344,529
女子	・	12,955,731	・	12,955,731	232,288
坑内員	・	605	605	・	341,650
船員	4,501	53,143	53,143	・	382,472
国民年金	・	27,068,828	9,172,989	17,895,839	・
第1号	・	17,400,479	8,974,871	8,425,608	・
任意加入	・	263,280	88,560	174,720	・
第3号	・	9,405,069	109,558	9,295,511	・
合計	・	62,889,631	32,038,061	30,851,570	・
人口	・	127,100,000	61,800,000	65,300,000	・
うち20～59歳	・	62,930,000	31,780,000	31,140,000	・
共済組合（平成 25 年 3 月末）	・	4,398,712	2,791,849	1,606,863	・

注 1. 厚生年金保険の被保険者のうち、坑内員及び船員は全員男子とみなした。

2. 人口は翌月 1 日現在の推計人口(総務省統計局)である。

### (2) 給付状況

- 平成26年4月末の国民年金、厚生年金保険及び福祉年金の受給者数（同一の年金種別を除く延人数）は、4,299万人であり、前年同月に比べて、32万人（0.7%）増加している。

表 2 制度別年金受給者数

(単位：人)

	総 数	老齢給付		障害年金	遺族給付	
		老齢年金	通算老齢年金		遺族年金	通算遺族年金
厚生年金保険 計	32,202,705	14,346,914	12,319,501	397,196	5,100,416	38,678
旧共済組合を除く	31,663,291	14,019,121	12,230,468	393,123	4,982,857	37,722
旧 法	1,922,431	768,414	627,239	48,406	441,443	36,929
新 法	29,702,239	13,233,094	11,600,114	343,222	4,525,809	・
(再掲) 基礎あり	20,430,765	10,901,251	9,235,422	225,562	68,530	・
基礎または定額あり	21,596,515	11,476,550	10,119,965	・	・	・
基礎繰上げあり	1,721,766	428,934	1,292,832	・	・	・
基礎繰上げなし	19,874,749	11,047,616	8,827,133	・	・	・
基礎及び定額なし	3,236,693	1,756,544	1,480,149	・	・	・
船員保険 (旧法)	38,621	17,613	3,115	1,495	15,605	793
旧共済組合計	539,414	327,793	89,033	4,073	117,559	956
旧 法	194,813	148,454	6,070	1,752	37,581	956
新 法	344,601	179,339	82,963	2,321	79,978	・
(再掲) 基礎あり	254,535	175,429	77,124	1,892	90	・
国民年金 計	31,473,327	28,783,590	791,783	1,802,227	95,727	・
旧法拠出制	2,085,412	1,211,810	791,783	65,783	16,036	・
新法基礎年金	29,387,915	27,571,780	・	1,736,444	79,691	・
(再掲) 基礎のみ	8,125,642	6,615,917	・	1,486,243	23,482	・
福祉年金	1,127	1,127	・	・	・	・
合 計	42,991,859	32,054,951	3,798,738	1,971,969	5,127,523	38,678

注 1. 新法老齢厚生年金のうち、旧法の老齢年金に相当するものは「老齢年金」に、それ以外のものは「通算老齢年金」に計上している。新法退職共済年金についても同様。（表 3 において同じ。）

2. 人数の合計は、厚生年金保険と同一の年金種別の基礎年金を併給している者の重複分を控除した数である。

3. 「基礎あり」は、同一の年金種別の基礎年金の受給権を有する者をいう。

4. 「基礎のみ」は、同一の年金種別の厚生年金保険（旧共済組合を除く。）の受給権を有しない基礎年金受給者をいう。

5. 寡婦年金については、新法においても存続しているが、第 1 号被保険者であった夫の妻のみに対して適用され、基礎年金一律の給付ではないため、新法分も便宜上旧法拠出制に計上している。（表 3 において同じ。）

○ 平成26年4月末の国民年金、厚生年金保険及び福祉年金の受給者の年金総額は、46兆円であり、前年同月に比べて、4千億円（0.9%）減少している。

表3 制度別受給者年金総額

（単位：百万円）

	総 数	老齢給付		障害年金	遺族給付	
		老齢年金	通算老齢年金		遺族年金	通算遺族年金
厚生年金保険 計	25,451,796	17,647,887	2,356,051	295,256	5,142,575	10,027
厚生年金基金代行分除く	23,722,539	16,039,641	2,235,041	295,256	5,142,575	10,027
旧共済組合を除く	24,724,301	17,086,170	2,333,610	291,063	5,003,658	9,800
旧 法	2,074,783	1,318,506	237,153	56,480	453,044	9,599
厚生年金基金代行分除く	2,050,757	1,298,630	233,004	56,480	453,044	9,599
新 法	22,570,756	15,717,682	2,095,372	231,498	4,526,204	・
（別掲）基礎年金	13,865,366	7,589,059	6,018,394	190,580	67,333	・
厚生年金基金代行分除く	20,865,525	14,129,312	1,978,512	231,498	4,526,204	・
船員保険（旧法）	78,762	49,981	1,085	3,085	24,410	201
旧共済組合計	727,495	561,717	22,440	4,193	138,917	227
旧 法	394,304	344,455	2,842	2,689	44,092	227
新 法	333,191	217,262	19,598	1,504	94,826	・
（別掲）基礎年金	187,039	129,449	55,944	1,558	88	・
国民年金 計	20,559,032	18,737,681	174,589	1,556,319	90,443	・
旧法拠出制	820,012	580,857	174,589	57,306	7,260	・
新法基礎年金	19,739,019	18,156,823	・	1,499,013	83,183	・
（再掲）基礎のみ	5,393,610	4,081,468	・	1,288,514	23,628	・
福祉年金	446	446	・	・	・	・
合 計	46,011,274	36,386,014	2,530,639	1,851,575	5,233,018	10,027

注1. 年金総額には一部停止額を含む。

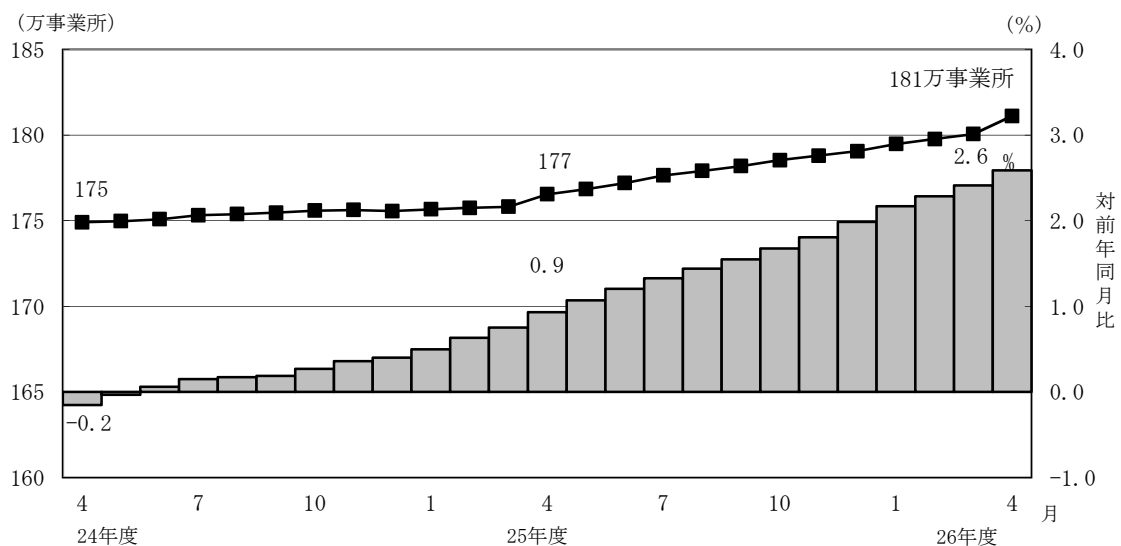
2. 「基礎のみ」は同一の年金種別の厚生年金保険（旧共済組合を除く。）の受給権を有しない基礎年金受給者の年金総額である。

## 2. 厚生年金保険

### （1）適用状況

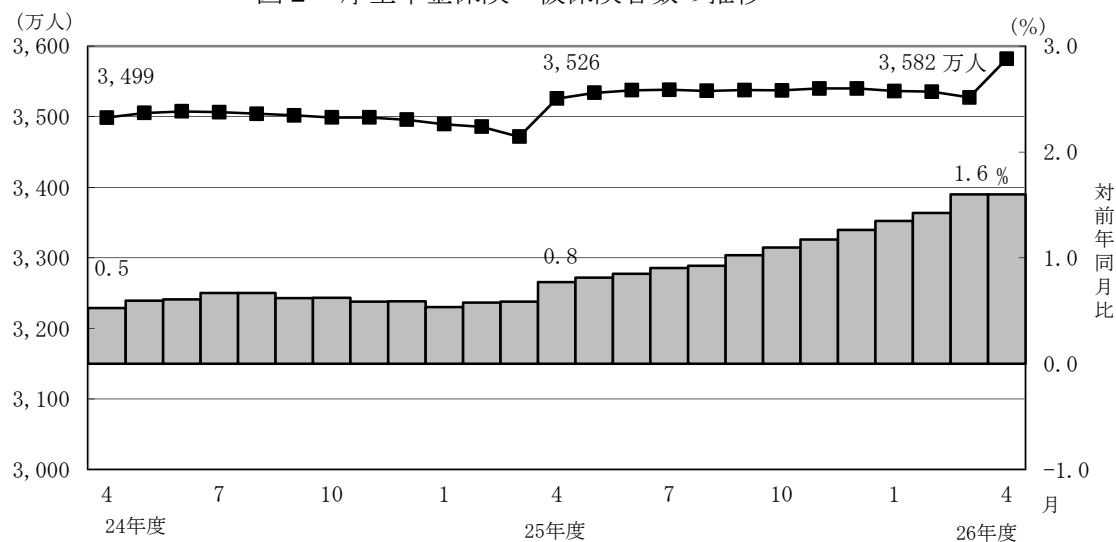
○ 平成26年4月末の厚生年金保険の適用事業所数は181万事業所であり、前年同月に比べて5万事業所（2.6%）増加している。

図1 厚生年金保険 適用事業所数の推移



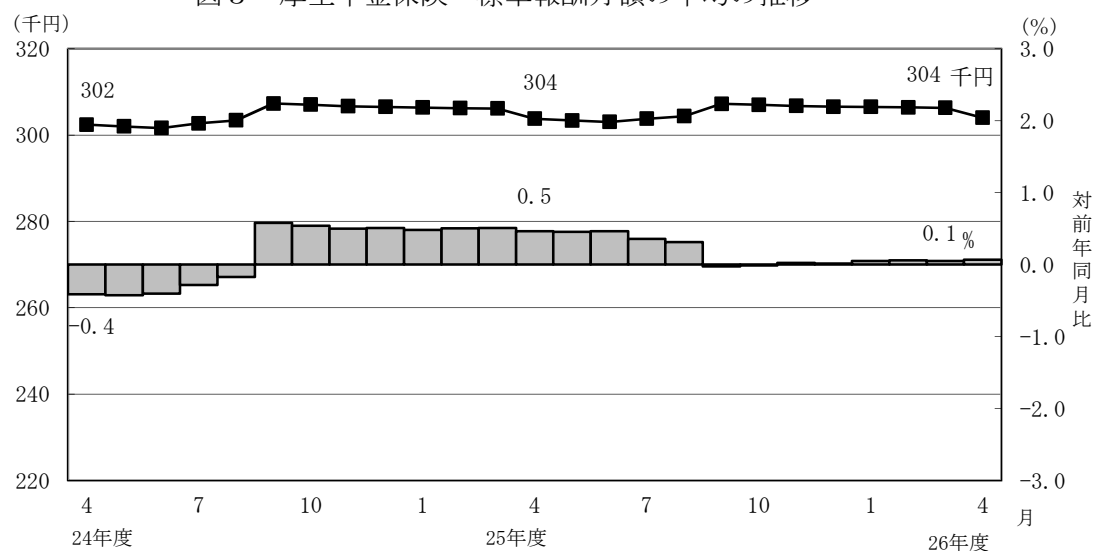
- 厚生年金保険の被保険者数は3,582万人となっており、前年同月に比べて56万人（1.6%）増加している。内訳をみると、一般男子が2,281万人（対前年同月比30万人、1.3%増）、女子が1,296万人（対前年同月比26万人、2.1%増）、坑内員が6百人（対前年同月比7人、1.1%減）、船員が5万人（対前年同月比1百人、0.3%減）である。

図2 厚生年金保険 被保険者数の推移



- 標準報酬月額額の平均は、30万3,990円となっており、前年同月に比べて0.1%増加している。内訳をみると、一般男子は34万4,529円（対前年同月比0.0%減）、女子は23万2,288円（対前年同月比0.6%増）、坑内員は34万1,650円（対前年同月比0.6%増）、船員が38万2,472円（対前年同月比1.2%増）である。

図3 厚生年金保険 標準報酬月額額の平均の推移

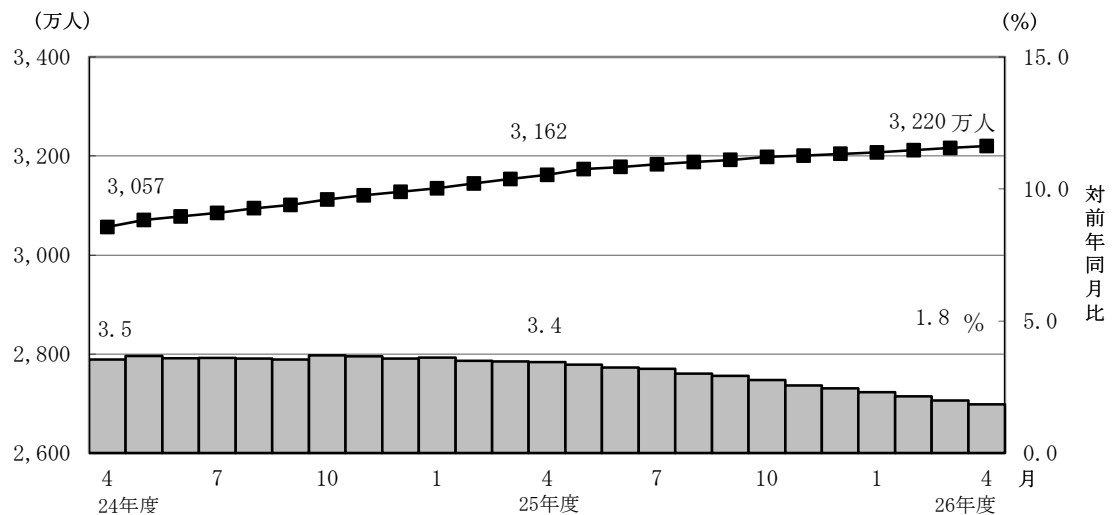


- 賞与支給事業所数は4万事業所、賞与支給被保険者数は143万人、標準賞与額の平均は21万9,418円となっている。

## （２）給付状況

- 平成26年4月末の厚生年金保険受給者数は3,220万人（旧法厚年分192万人、新法厚年分2,970万人、旧法船保分4万人、旧共済分54万人）で、前年同月に比べて58万人（1.8%）増加している。
- 老齢給付の受給者数は2,667万人（旧法厚年分140万人、新法厚年分2,483万人、旧法船保分2万人、旧共済分42万人）で、前年同月に比べて47万人（1.8%）増加している。
- 障害給付の受給者数は40万人（旧法厚年分5万人、新法厚年分34万人、旧法船保分1千人、旧共済分4千人）で、前年同月に比べて7千人（1.7%）増加している。
- 遺族給付の受給者数は514万人（旧法厚年分48万人、新法厚年分453万人、旧法船保分2万人、旧共済分12万人）で、前年同月に比べて10万人（2.1%）増加している。

図４ 厚生年金保険受給者数の推移



- 平成26年4月末の老齢年金受給者の平均年金月額は、14万7,339円となっている。  
老齢年金の新規裁定者（受給者）の平均年金月額は、6万7,121円である。

- 平成26年4月末における失業給付との調整に該当する受給権者数は6万人、高年齢雇用継続給付との併給調整に該当する受給権者数は33万人となっている。

表 4 雇用保険の給付と老齢厚生年金との調整

	失 業 給 付								
	件数 (人)			総停止年金額 (千円)			平均停止月額 (円)		
	計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当
平成 25年 11 月	63,172	46,941	16,231	43,732,094	40,280,825	3,451,269	57,689	71,510	17,720
12 月	64,177	47,279	16,898	43,814,824	40,227,885	3,586,940	56,893	70,905	17,689
平成 26年 1 月	61,099	44,544	16,555	40,975,976	37,449,718	3,526,258	55,887	70,061	17,750
2 月	59,270	43,038	16,232	39,384,829	35,936,880	3,447,950	55,375	69,584	17,701
3 月	58,449	42,179	16,270	38,385,883	34,929,369	3,456,514	54,728	69,010	17,704
4 月	56,069	39,848	16,221	35,740,183	32,308,398	3,431,784	53,119	67,566	17,630

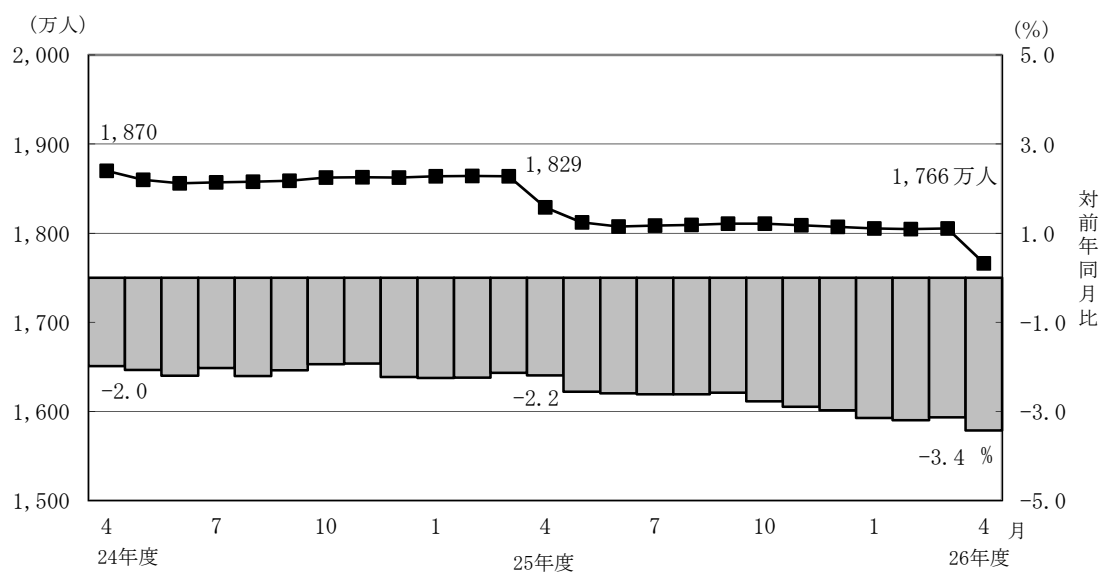
	高 年 齢 雇 用 継 続 給 付								
	件数 (人)			高年齢雇用継続給付による停止総額 (千円)			平均停止月額 (円)		
	計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当
平成 25年 11 月	348,143	338,754	9,389	44,611,869	43,725,594	886,275	10,679	10,756	7,866
12 月	352,352	342,590	9,762	44,843,599	43,938,010	905,589	10,606	10,688	7,731
平成 26年 1 月	348,781	339,122	9,659	44,437,803	43,538,685	899,118	10,617	10,699	7,757
2 月	342,851	333,298	9,553	43,709,361	42,820,144	889,216	10,624	10,706	7,757
3 月	339,570	329,945	9,625	43,145,970	42,257,765	888,204	10,588	10,673	7,690
4 月	329,366	319,932	9,434	41,753,441	40,879,454	873,987	10,564	10,648	7,720

### 3. 国民年金

#### (1) 適用状況

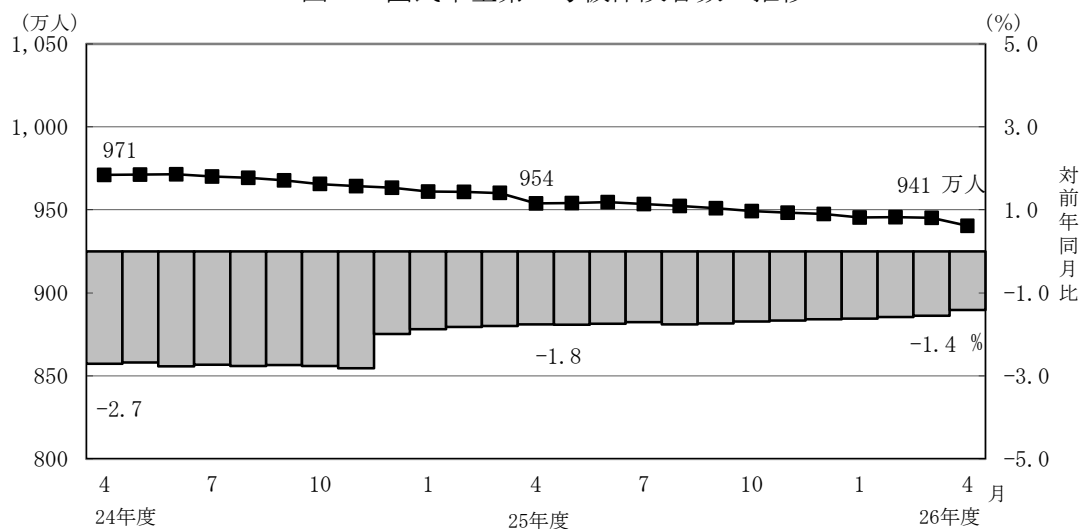
- 平成26年4月末の第1号被保険者数（任意加入被保険者を含む。）は、1,766万人となっており、前年同月に比べて63万人（3.4%）減少している。内訳をみると、男子は906万人（対前年同月比31万人、3.3%減）、女子は860万人（対前年同月比32万人、3.6%減）である。

図5 国民年金第1号被保険者数（任意加入を含む）の推移



- 第3号被保険者数は941万人となっており、前年同月に比べて13万人（1.4%）減少している。内訳をみると、男子は11万人（対前年同月比2千人、1.5%減）、女子は930万人（対前年同月比13万人、1.4%減）となっている。

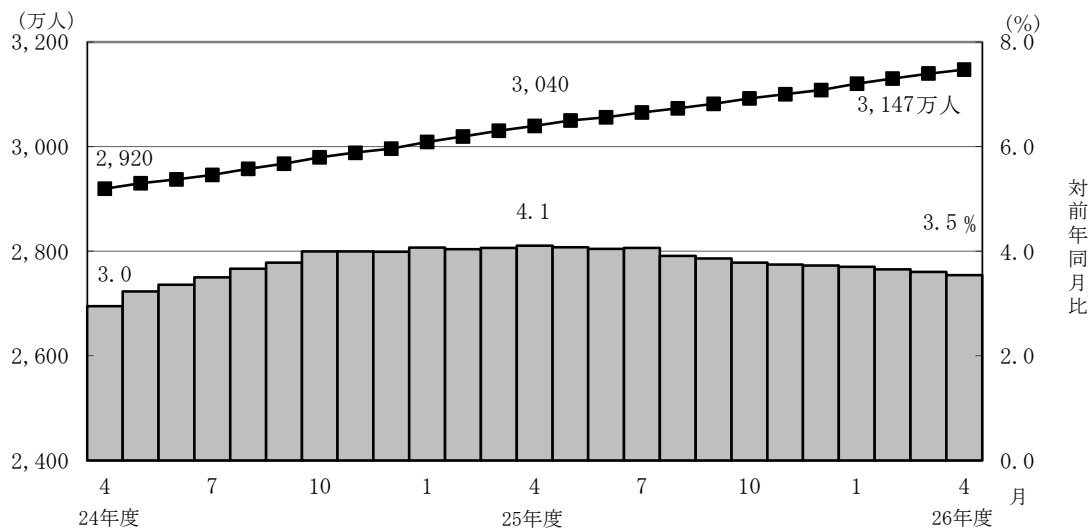
図6 国民年金第3号被保険者数の推移



## (2) 給付状況

- 平成26年4月末の国民年金受給者数は3,147万人（旧法拠出制209万人、基礎年金2,939万人）で、前年同月に比べて108万人（3.5%）増加している。
- 老齢給付の受給者数は2,958万人（旧法拠出制200万人、基礎年金2,757万人）で、前年同月に比べて105万人（3.7%）増加している。
- 障害給付の受給者数は180万人（旧法拠出制7万人、基礎年金174万人）で、前年同月に比べて3万人（1.6%）増加している。
- 遺族給付の受給者数は10万人（旧法拠出制2万人、基礎年金8万人）で、前年同月に比べて4千人（4.3%）減少している。

図7 国民年金受給者数の推移



- 国民年金の老齢年金受給者の平均年金月額は、平成26年4月末で5万4,249円となっている。

老齢年金の新規裁定者（受給者）の平均年金月額は、5万1,201円となっている。

- 旧法老齢年金受給権者及び厚生年金の受給権を有しない老齢基礎年金受給権者について繰上げ受給の状況をみると、4月は新規裁定者1万8千人のうち繰上げ受給権者が2千人となっており、繰上げ受給率は13.5%である。なお、平成25年度新規裁定者の繰上げ受給率は14.4%となっている。